

安倍朝臣奥道の雪の歌一首

一六四二番

たな霧らひ 雪も降らぬか 梅の花 咲かぬが代
に そへてだに見む

若桜部朝臣君足の雪の歌一首

一六四三番

天霧らし 雪も降らぬか いちしろく このいつ
柴に 降らまくを見む

三野連石守の梅の歌一首

一六四四番

引き攀ちて 折らば散るべみ 梅の花 袖に扱入
れつ 染まば染むとも